

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

教科名	社会（地図）
第 1 推薦	4 6 帝国
第 2 推薦	2 東書

（社会：地図） 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2 東書	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「この地図帳の活用方法」を設け、一般図、テーマ地図、グラフ・写真などの資料の見方などの地図帳の使い方や、歴史、公民分野での活用例を記載している。 ・ 日本の各地で掲載されている歴史に関する資料を、テーマ数 15、全 11 ページにわたって取り上げている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、吹き出しを設けている。また、「ジャンプ」というマークを設定し、別ページにある関連性の深い内容を示している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総ページ数 192。「世界の資料図」 20、「世界の諸地域」 56、「日本の諸地域」 62、「日本の資料図」 19、「統計」 10、「さくいん・資料さくいん」 11、「巻頭・巻末」 14 となっている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットを使った学習ができることを示した「D」マークを各所に記載している。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、地図の活用方法や課題を追究するための問いなどの吹き出しを 51 か所設けている。
4 6 帝国	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「地図帳の使い方」を設け、地図の要素、一般図、鳥瞰図、資料図などの地図の使い方を記載している。 ・ 日本各地で掲載されている歴史に関する資料を、テーマ数 18、全 17 ページにわたって取り上げている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図活用の技能を身に付けるためのコーナー「地図活用」を各所に設定し、読図や比較を通して、分かることを整理したり、説明したりするような問いを示している。
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総ページ数 188。「使い方・資料」 15、「世界の諸地域」 58、「日本の諸地域」 68、「日本の資料」 20、「統計」 9、「さくいん」 12、「巻頭・巻末」 6 となっている。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地図活用」の解答や学習を深めるためのコンテンツを見ることができるよう、各所に 2 次元コードを記載している。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを 107 か所設けている。